

第2回本耶馬溪作業部会議事録

開催日時: 令和8年8月3日 16時～18時45分

開催場所: 本耶馬溪公民館 大会議室

参加者数

グループ	1	2	3	4
人数	5名	4名	4名	4名

- あいさつ、アイスブレイク
事務局から、参加のお礼と前回の内容について説明があった。
その後、第1回と同じ5つのグループに分かれてアイスブレイクを行った。
- グループワーク①
第1回で出し合った「自分たちが住みたい地域」「地域に住む人にとって住みたい地域」の各アイデアを4つのテーマに分別した。
- グループワーク②
再度グループ分けを行い、参加者を4つのグループに分け、4つのテーマの中でさらに同じような内容にまとめた。

まとめ

- ①つながり、支え合いのあるまち:「認知症への理解」「地域間や世代間のつながり」「悩みや意見の見える化」「人材育成」「挨拶と声かけ」を基盤とした、助け合いのある地域づくりが目標として掲げられた。
- ②安心・安全のあるまち:「防災対策」「空き家対策」「防犯カメラの設置による安心・安全の確保」「高齢者の健康維持(フレイル対策)」も含め、安心して長く住み続けられる地域環境の整備が求められた。
- ③暮らしを支えるサービスが充実したまち:「コンパクトシティ化による医療・商業施設の集約」「交通アクセスの改善」「様々な業種の誘致」主に病院からの送迎システムやライドシェアの導入、買い物の選択肢拡大により、生活の質を向上させる方針が示された。
- ④地域が元気になるまち:「既存資源(空き家や農地)の活用」「農業指導」「人材育成」「地元で働ける場所や環境を整える」「若者の定住」を促進し、学校や地域社会が持続可能な形になるような循環を目指す意見が出された。

